

特別展
「子ども／おもちゃの博覧会」

明治時代以降における日本の社会の大きな変化は、その時々の子どものありようや人びとの子ども観に影響を与えました。本展では、江戸時代から戦後のさまざまな玩具をつつじ、子どもや子どもをめぐる社会の変遷とその意味を探ります。

会期 3月21日(木)祝～5月28日(火)
会場 特別展示館



自動車



シーク教徒が演奏する擦弦楽器ターウス

企画展
「旅する楽器——南アジアの響き」
南アジアの弦楽器は、中央アジアや西アジアから伝えられた楽器が改良され定着したものが多く、そのいくつかは南アジアでの変容を経て東南アジア、東アジアにも伝えられました。楽器が広大な地域を旅して伝播していく様子を、ユーラシアにおける長期的な文化交流を感懐してください。

※要事前申込、参加無料
※申込締切 2月8日(金)必着
※本館講堂が改修中のため、館外での開催となります。

ギャラーリ公演「ミニコンサート」
南アジアの弦楽器の演奏をお楽しみください。

時間 13時30分～14時15分、
15時15分～16時(各日2回公演)
会場 本館企画展示場出口
※申込不要、要展示観覧券

3月9日(土)
演奏 的場裕子
楽器 ヴィナー
3月17日(日)
演奏 伊藤香里、勝田信明
楽器 サランギー、マール
3月30日(土)
演奏 小日向英俊、藤澤はやん
楽器 シターール、タブラー

みんなく映画会 第44回ワールドシネマ

「ママのお客」

涙あり笑いありのイラン映画の名作を上映。食卓とおして、イランの人びと、その日常生活や社会を知りたいと思います。

日時 2月23日(土)13時30分～16時30分
(13時開場)
会場 ホテル阪急エクスポパーク
多目的ホール(オービットホール)
(定員400名)
※申込不要、参加無料
※参加券を当日11時から多目的ホール(オービットホール)前受付にて配布
※本館講堂が改修中のため、館外での開催となります。

点字体験ワークショップ

目で読む文字から手で読む文字へ、点字で異文化コミュニケーション！点字体験ワークショップを開催します。

日時 2月9日(土)12時～15時30分
会場 本館エントランスホール
※申込不要、参加無料
※みんなくミュージアムパートナーズ(MMP)による催しです。
※各イベントについてくわしくはみんなくホームページをご覧ください。
※電話でのお問い合わせの受付時間は、9時～17時(土日祝を除く)です。

みんなくセミナー

日時 2月16日(土)13時30分～15時(13時開場)

会場 本館セミナー室

参加費 無料

※参加券を当日12時30分から本館1階案内所前にて配布
※メイン会場が満席の場合は中継会場をご案内いたします。

第488回

インカ帝国から先住民共同体へ

——植民地期アンデスにおける先住民の集住化

講師 齋藤晃(本館教授)

16世紀末、スペイン人は旧インカ帝国で約150万の先住民を基盤目状に区画された1000以上の町に強制移住させました。集住化と呼ばれるこの世界史上希有な社会実験について、最新の研究成果を紹介します。



旧インカ帝国首都クスコに近いピサクの町

みんなくウィークエンド・サロン
研究者(話者)

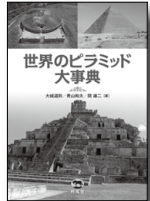
本館の研究者が「現在取り組んでいる研究」調査している地域(国)の最新情報「みんなく」の展示資料」について分かりやすくお話しします。

2月3日(日)14時30分～15時15分 本館ナビひろは
はじめにヒモありき——人類の線状物利用
話者 上羽陽子(本館准教授)

刊行物紹介

■大城 道則、青山 和夫、関 雄二 著
『世界のピラミッド大事典』
終風舎 15,000円(税別)

ピラミッドの“謎”を解く鍵がここにある。「ピラミッド」とは何なのか。研究分野の異なる3名の著者が、それぞれのフィールドにおけるピラミッドを紹介。わが国のこれまでのピラミッド学の枠を超え、世界中に点在するピラミッドの謎に迫る。項目数約180、掲載図版約430点。



2月17日(日)14時30分～15時 本館ナビひろは
カフィル・カラ遺跡(ウスベキスタン)における
ゾロアスター教関連の木彫り板絵の発見
話者 寺村裕史(本館准教授)

2月24日(日)14時30分～15時15分
本館ナビひろは、第1収蔵庫前のコーナー
収蔵庫を窓からのぞいてみよう
話者 園田直子(本館教授)

※申込不要、参加無料(要展示観覧券)
ただし、24日(日)は展示観覧券不要

●無料観覧日のお知らせ
2月24日(日)は、本館展示と企画展を無料で観覧いただけます。

友の会

友の会講演会

会場 本館第5セミナー室(当日先着順・定員96名)
※会員無料(会員証提示)、一般500円

3月の友の会講演会は第2土曜日に開催します。

第486回 3月9日(土)13時30分～14時40分
キリスト教で読み解く韓国の歴史と文化
講師 太田心平(本館准教授)

日本に仏教を伝えた地域として知られる朝鮮半島。儒教の国としても知られる韓国。しかし、統計をみると、宗教があるという人のうち過半数がキリスト教徒です。どうしてこれほどキリスト教が普及したのでしょうか。それを紐解けば、日本とは大きく異なる韓国の近現代史と、あまり知られざる現在の姿がいつばいです。植民地から軍事独裁へ、民主化運動と格差社会。そして、エネルギーギンギンな若者たちの生き方まで、キリスト教を鍵に考えます。

※講演会終了後、講師を囲んで懇談会をおこないます(40分)。

第487回 4月6日(土)13時30分～14時40分
イラン音楽の楽しみ
——伝統打弦楽器サントゥールを例に
講師 谷正人(神戸大学大学院准教授)

東京講演会

第125回 3月9日(土)13時30分～14時40分
米国先住民ホビの暮らしと世界観
講師 伊藤敦規(本館准教授)

会場 モンベル御徒町店4Fサロン
米国アリゾナ州のグランドキャニオンの近くに保留地を持つ先住民ホビは、乾燥した土地に暮らす農耕民です。農作物の生長に欠かせない降雨を祈願する儀礼には、超自然的存在力チーナが現れます。動物や植物や自然現象そのものを表し、その存在自体が雨雲の化身とみなされています。民博は力チーナ人形資料を281体収蔵しています。ホビの人びとによる資料解説映像を通して、彼らの暮らしと世界観を紹介します。
※講演会終了後、講師を囲んで懇談会をおこないます(40分)。
※要事前申込先着順(定員60名)
会員無料(会員証提示)、一般500円

国立民族学博物館友の会 電話 06-6877-8893 (9時～17時、土日祝を除く) FAX 06-6878-3716
https://www.senri-f.or.jp/minpaku_associates/ E-mail minpakatomo@senri-f.or.jp

